

《拓の会ニュース》

Vol.04

■拓の会例会予定（10月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

- | | | |
|------------|--|---|
| 第1G | ■日 時： 10月21日(水) 19:00~21:00
■会 場： 同友会会議室またはZOOM参加 | ■テーマ： 未定
■話題提供者： (有)野尻写真館 代表取締役 野尻 克昭 氏 |
| 第2G | ■日 時： 10月7日(月) 19:00~21:00
■会 場： 同友会会議室またはZOOM参加 | ■テーマ：働きやすい社会への挑戦 ～リモートだけじゃない、働き方の取り組みの工夫～
■話題提供者： デジタルグラフィックス(株) 代表取締役 河村 知明 氏 |
| 第3G | ■調整中 | |
| 第4G | ■調整中 | |

■拓の会例会報告（9月）

<第1グループ> 記 録： 牧野氏

『侃々諤々』グループ
 ■日 時：9月16日（水） 19：00～21：00
 ■場 所：同友会会議室・ZOOM参加
 ■参加者：11名
 ■テーマ：『オレの話を聞け!!』
 ■話題提供者：ホンダカーズ帯広中央 代表取締役社長 石原直樹 氏
【感想・報告】

今回のテーマは『オレの話を聞け!!』と言う事で、一見ちょっと過激なテーマの様でしたが、例会はとても和やかな、いつもの通り、学びあり・笑いあいの楽しい例会でした。

石原社長がJC時代に前支部長の山本英明社長と共に良い経営者になる為に夜通し話し合った内容や、お二人でクリスマスにサンタとトナカイに扮装し社員のお子さんにプレゼントを、届けに回った時の話を伺いました。

十勝を代表する経営者のお二人ですが、若かりし頃とても真直ぐに経営に向かい合い、【考え・話し合い・学び合う】姿勢を実体験を踏まえてご教授頂き、学ばせて頂きました。

また、当時は社員をJCの仲間にする様に愛する事ができ、社員一丸となって努力できれば、きっととてもいい会社になるはずだと考え実現に向けて様々な努力をなさったお話を伺いました。

仕事が出来ない社員を育て、出来る社員にしなければ社員一丸にはならないし、適材適所で配置でき、能力を活かす事が出来る会社を目指さなければならぬと感じ良い気付き、良い学びの機会を頂きました。

<第3グループ> 記 録：津田氏

『とかちの観光を考える会』グループ
 ■日 時：9月24日（木） 19：00～21：00
 ■場 所：生らむ店 一桂 ■参加者：5名
 ■テーマ：『帯広でのコロナ禍の現況や対策を実際に聞いて学び、今後の展望を考える②』
 ■話題提供者：生らむ店 一桂 チーフ 吉川真未 氏
【感想・報告】

2013年開店された生ラム専門店です。店舗チーフの吉川様にご対応いただき、お店や料理の説明をして頂きました。まず焼き方ですが、富士山の天然岩石を使用した溶岩プレートで焼き上げる事ができるのが売りで、なかなか見られない焼き方だったと思います。遠赤外線の効果を利用しお肉も柔らかくジューシーで野菜も甘さが感じられるとの事。確かにその通りで、鉄板とは一味違ってふくらした焼きあがりを感じる事ができました。とても印象に残ったので、素材は大事ですが、それ以上に工夫された調理方法で、更に直接解る形で食す事ができるのは客側にとってインパクトが大きい事なんだと思いました。最近は客入りも良い日があるとの事で、シンプルだからこそ最初のこだわりや設定を大事に継続していくのが大事だと感じました。



<第2グループ> 記 録：知地氏

『職場環境改善』グループ
 ■日 時：9月2日（水） 19：00～21：00
 ■場 所：同友会会議室 ■参加者：9名
 ■テーマ：1.労働保険及び社会保険の実務、2.経営者に必要な力
 ■話題提供者：徳江労務行政事務所 所長 徳江孝一 氏
【感想・報告】

話題提供者の徳江さんより、社労士の観点から労災保険や社会保険の実務、経営者に必要な力についてお話いただきました。

帯広で起きた労災案件を事例に、「うつ病再発労災提訴が起きた時の流れや仕組みについて」、「長時間労働に対しての会社の責任について」お話いただいた。

経営者に必要な力は14項目あり、なかでも理解力・問題解決力が必要とのこと。経営者は人間で完璧ではないので、企業として現在不足する力をカバーできるパートナーやブレンがいる事で企業は成長できるとのお話を聞いて、参加者の方も自分の会社に置き換えて考えているのが印象的だった。

小人数のグループなので、最後の情報交換や質疑応答で個々の質問がその場で回答出来ていて今回も有意義な時間になりました。



<第4グループ> 記 録：井上氏

『社員が辞めない会社作りを考える』グループ
 ■日 時：9月25日（金） 19：00～21：20
 ■場 所：同友会会議室・ZOOM参加 ■参加者：10名
 ■テーマ：『教えて働き方改革!!』～経営者・従業員それぞれの目線で学ぼう～
 ■話題提供者：社会保険労務士法人岡田事務所 代表社員・所長 岡田衆義 氏
【感想・報告】

7月度に北村さん・及川さん、8月度に各参加者の取組みの発表を経て改めて働き方改革を学ぶため、社労士の岡田先生に講義を依頼し、ポイントを絞って経営者目線・従業員目線で説明頂いた。

●働き方改革の導入の背景
 導入当初とコロナ禍にある現在では状況が違ってきており、業種によっては人材過多で求人倍率も低下傾向にある。十勝においては平均1.27倍であるが、これも業種によって差があるのが実情。その中で求職者が求めているのは、福利厚生や有休消化そして残業の有無やその分の支給がされているか否かである。会社が永続的に経営していくには、『採用活動の多様化』『定着率を向上し、離職率を下げる』そして『人材教育の強化』という話をしていただいた。

●長時間労働の是正と有給休暇消化
 複数の内容がある中で、上記2つは従業員側から一番ホットな話題であるため、この部分に時間をかけて説明いただいた。時間外労働と休日労働の違い、割増率の考え方、名ばかり管理職と管理職の違い、労働時間の管理方法など、いくつかの事例をもとに学びを得る事ができた。

有給休暇消化については、会社からの促進・管理方法・経過確認をしっかり行うこと、また農業王国十勝においてみられる季節雇用(4月～12月)の取得方法の考え方等参考になるものが多くあった。

働き方改革実現には、経営者は『良好な職場環境整備』従業員は『働きやすい雰囲気構築』が必要不可欠であることを認識し予定時刻をオーバーして終了した。